



青南だより

平成30年夏休み号

港区立青南幼稚園
園長 新山 裕之

<思い通りにならない自然>

今年は3月中に桜が散り、6月に梅雨が明けるなど、例年よりも半月ほど早く季節が巡っています。庭の木々の生長はよく、秋にブドウが熟すのも楽しみです。22日には伸びすぎたサクラやエノキの枝の剪定を行います。ハリエンジュだけは、樹木医の診断の結果、台風などに耐えられない可能性があるということで、伐採せざるを得ないことになりました。長年子どもたちを見守ってくれた大木です。業者の方には、切り株や丸太が机や椅子として残してもらえるようお願いしています。



ありがとう。さようなら、ハリエンジュの木

<リフレッシュして、そして学ぶ夏>

6月から全国国公立幼稚園・こども園長会の会長として、私が園のことに平行しながら進めている仕事の多くは、幼児教育の質の向上のための研修に関するものです。夏休みには新潟で先生たちの研究協議会を主催し、全幼Pの全国大会徳島大会にも参加してきます。先生たちも、主任教諭としての若手教員への指導、免許更新研修、中堅教諭研修、実技研修などそれぞれのキャリアに応じた指導力の向上に務めます。子どもたちに負けないように、少しでも成長して2学期を迎えたいと思います。



残念ながら藤と藤棚も撤去となります

<防災・減災のために>

6月には大阪北部地震、7月には西日本豪雨災害があり、他人事ではないと感じています。夏休み明け9月3日は大地震を想定した引き取り訓練を行います。また、9月8日(土)には、アウトドア流防災ファシリテータの あんどう りす さんに、防災に関する講演をお願いしています。



園庭のミカンの木で見付けた卵から育てて羽化したクロアゲハをみんなで放しました

足育研究の一環として、9月中旬に全員の足の採寸などをしてもらう予定です。保護者会の講演会とリンクさせて、履き方の指導を受けてから、写真の上履きを貸与してもらう予定です。詳しくは、別紙プリントをご覧ください。



ワクワク池ではシオカラトンボがよく見られます

青南の 二十四節気

・・・葉月(はづき)・・・

立秋(7日)・・・セミが鳴き、暑さはまだまだ続きます・・・

処暑(23日)・・・暑さも少し収まり、もうすぐ2学期・・・

今年のジャガイモは大小合わせて333個も収穫できました。カレー会食を前に包丁で切る経験もしました。その後、キュウリもたくさん成り、年中や年少にお裾分けすることもできました。ナスやピーマンは炒めて、年少児はミニトマトをいただきました。野菜が苦手という子が、自分たちで育てた野菜だと食べられていました。手間ひま掛けて育てて作った料理の味は、一生の記憶として舌が覚えていることでしょう。



履き方を学ぶために貸与する予定の上履きです。9月中旬に全園児の足の採寸をする予定です。